

〈要約〉

就活おけるエントリーシート評価と  
就職内定との関連性の考察  
～東京交通短期大学において～

Consideration of entry sheets evaluation and  
job hunting for new graduate.  
～ In Tokyo College of Transport Studies ～

田 邊 友 昭  
Tomoaki Tanabe

東京交通短期大学での授業「企業研究」において学生に就職活動支援としてエントリーシートの記入、添削を行っている。その授業でのエントリーシート評価と現実の就職活動での内定結果とのつながりがどのようになっているのかを確認するため追跡調査している。

添削における項目立てとその内容での点数付けした結果とその1年後の就職状況実態を踏まえ筆者の経験値による項目だしや全体評価との関連性を考察している。

エントリーシート評価項目は、「読みたくなる」「丁寧に書かれている。誤字・脱字がない」「志望意欲が伝わる」「高校・短大時代の事が書かれている」「文章が端的で。主語・述語がわかりやすい」「数字の入った具体的なことが書かれている」「一つのお題に一つのエピソードを具体的に書いてある」「プラスイメージの表現になっている」「努力、工夫、人柄が分かる」「評論になっていない」「継続性(年数・月数など)がわかる」「再現性がわかる。新しいことでも任せると考えてできる」「会ってみたい」の13項目である。

結果としては、エントリーシートをしっかりと書けるようにすることで、自信を植え付け、面接でも話ができることにつながっている。

また結果の悪い学生も、エントリーシートの書き方を知ることによって努力するようになっている。エントリーシート評価と就職内定の関係性はある。